

平成30年度第2回豊田市地域保健審議会議事録

開催日時：平成31年2月12日（火）14：00～15：48

開催場所：豊田市役所東庁舎4階 東43・東44会議室

出席者（敬称略）：渡邊真（会長）、中野幸彦（副会長）、岩月幸雄、浦野滋行、小澤仁和、中田繁美、中出美代、宮澤清人、村瀬和好

（欠席者）：谷友一郎、長谷川喜代美、渡邊丈眞

（市側出席者）竹内保健部長兼保健所長、兵藤保健部副部長、柴川保健担当専門監、児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長、成瀬総務課長、三輪保健衛生課長、鈴木地域保健課長、梅村子ども家庭課母子保健業務担当副主幹、南障がい福祉課課長、松川総務課副課長、河合総務課医師、

司会

会議及び議事録の公開についての説明

当日の傍聴者数についての報告（0人）

部長挨拶

会長挨拶

議事

○渡邊会長

はい、どうもありがとうございました。

続きまして、本日の議事録署名者を、議長より2名指名させていただきます。議事録署名者は、岩月幸雄委員、中田繁美委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。

それでは本日の議題に移ります。

協議事項1にあります「豊田市自殺対策計画（素案）について」を議題とします。

それでは説明を、事務局からよろしくお願いいたします。

●成瀬総務課長

協議事項(1)「豊田市自殺対策計画（素案）について」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

ただいま説明が終わりましたので、内容についてご意見やご質問等ありましたら、ご発言を

お願いいたします。

○岩月委員

すいません。すごく初歩的なことを聞いて申しわけないのですが、自殺死亡率っていうのは、これ10万人単位の数字でしたか。

●成瀬総務課長

はい、そうです。10万人をベースとした、数値となります。

○岩月委員

10万人、例えばその、22年までの自殺の目標とされる14.0以下っていうのは、市民10万人に対して14人以下ということですか。

●成瀬総務課長

はい、そういうことです。

○岩月委員

豊田市だと40万、45万人だとこの4倍が、その数字、実際の数字というふうなイメージになりますね。

●成瀬総務課長

そうですね。今ご質問がありましたとおり、39ページのところです。自殺死亡率を14.0以下ということになりますので、人口で単純に、4倍とさせていただくと、56人以下ぐらいと、こういうような数字になるわけですが、ちょっと資料戻っていただくと、4ページにお戻りください。

本市の2017年、昨年、一昨年ですね。平成27年の自殺を残念ながらされた方ということで、全体で48名となっております。これ比較すると、既にというようなお話もあるのですが、冒頭も少しお話ししましたが、増減をがたがたと繰り返して、全体としては下がっている傾向ではございますが、この増減の傾向をとにかく抑えていきたいという思いも含めてですね、死亡率として、14.0以下というふうに設定させていただきました。以上です。

○渡邊会長

はい。ただいまの説明では、もう既に達成されているんじゃないかということですね。

●成瀬総務課長

単年で見てしまうとそういうところもあるということです。

○渡邊会長

そうするともうちょっと上のレベルに設定したほうが、せつかく計画をつくるんだったらいい

いんじゃないかということも、多分あるかもしれませんね。もう既に達成されているところから、全体に低下傾向が続いているということを考え合わせると、どうもこの14.0以下ってというのは、ちょっと数値目標としてはどうかということですよ。

何かご意見ありますか。

○中出委員

基本目標に、1人でも多くの自殺者を減らすって書いてありますが、ちょっと漠然としていられると思います。やっぱり数値目標が必要で、5年後どうなっているかを、後でそれを見るのは自殺率しかないと思うのです。そうなると会長さんがおっしゃられたことが1つありますし、この計画の中で、やっぱり数値の目標値として自殺率をどこまで減らすっていうのがあって、そのために重点項目があるっていうふうな位置づけだと思うのですが、これだと重点項目以外の数値目標が一番最後に出てくるので、違和感を感じます。なので、1人でも多くの人を減らして、ここまで減らすっていう目標、そこが一応アウトカムとしてのゴールにしないと、何か計画自体がぼんやりするような気がします。5年後にどうなるとか、単年ごとにどうなるって、何で評価するか。PDCAサイクルで事業評価をしたとしても、その事業に参加して、知っている人が増えても、結局自殺率が減らなかったら、この計画自体が厳しかったということになるので、最終的には自殺率をもう少し低く設定して、そこがちゃんとどこまでできたかを見る計画にするのが、わかりやすいかなと感じました。

○渡邊会長

はい、そうですね。その他に御意見はいかがですか。

今、ご意見にもあったように、一応その前に5年後の目標が掲げられているのです。それとかなりの数値、取り組みに関する数値目標は、現時点よりもかなり高いレベルのところにも設定してあるような印象を持つのですが、それが最後のところまで、数値目標がちょっとですね。5年間の平均をとって、14というのが出たということなので、こちらのところが、まあもう少し高いレベルを設定した方が良いのではないかと御意見かと思えます。そのあたり、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○岩月委員

意見ですけれども、たまたま17年がね、少なかったものですから、単年度では目標よりも今回目標とされる数値よりも下がっているわけですが、この課題として、自殺予防という問題そのものが非常にこう、つかみどころがないと言いますかね。これをして減らせるって確証のある対策はなかなか持てないところの中で、5年平均という数字を目標にされているは、僕はやむを得ないのかなと思いますけれども。たまたまその17年の数字が、少なかったってのがちょっと目立ちますよね。

○渡邊会長

それともう1つですね、最初の「本市の特徴」ということで、男性の30代までと80歳以上、また女性の70歳以上で、全国よりも高くなっていくということで、多分この5年後は非

常に今後の当市の人口比率で、そういうのを見据えた上で、非常によりそういう年齢層の人が増えることは考えられることだと思います。そういうことを考慮すれば、非常に今とはちょっと状況が違うという可能性もあるかもしれないような数字とは思ってきまずけど、ほかの委員は、よろしいですか。

はい、どうぞ、村瀬委員。

○村瀬委員

1月18日の中日新聞に自殺者が9年連続減ということで去年は2018年の723人減の2万598人で、この9年近く、2万人台が続いてきました。以前は3万5000人ぐらいいましたけどね。これで安心とかそういうことではなくて、ただこれからの人口減の社会のため、例えば1年に37万人ぐらいの日本人が減っていくわけですから、そうすると自殺者そのものが、それに合わせて減ってくと思うのです。ただ自殺率で見ると、特にさっきの委員のお話ですと、豊田市では80歳以上が多いとなることになると、高齢者の自殺率はもっと高いということもありますので、単にトータルでの自殺率とか、そういうことだけじゃなくてですね、高齢者あるいは子供の例えばいじめなんかによる自殺とか、やっぱりそういう細かく分けた形で目標設定していき、今後の人口減も含めてですね、考えていったほうがベターかなと僕は思うんですけども。

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。ということで、より年齢層ですね。全体でならした自殺率よりも、高齢、やはり年齢層での非常に最初にあったような高さというようなところを、やはりある程度減らしていくような数値目標を加えてというか、その辺も考慮して、その辺も何か形として出しといたらというご意見かと思います。まさしく今後の豊田市のことを考えると、そういうような視点も大切かと思いました。

他にはよろしいでしょうか。

はい、どうぞ。

○岩月委員

37ページにある重点目標2のゲートキーパーの養成研修のことですけれども、この計画をつくることですが、図だけで見ると19年度イベントだけが入っていて、実施が入っていないことで何か、実施に至るのに少しタイムラグっていうのか、もう当初から始めてもいいのかなと、そんな気がするのですが、ここら辺は、どういう検討準備なんかがあるというふうには思うんですけど、その辺はどういう考え方で、この程度になったんでしょうか。

●成瀬総務課長

特に37ページの(1)の市職員向けにつきましては、年度の後半ぐらいからは、実際には取組んで行うと思います。特に支援者向けですとか市民向けにつきましては、ちょっとしたやり方ですとか具体的な取り組みを少し慎重に議論していき、着実に進めていきたいなということがございます。決して2020年度からしかやらないということではなく、特に1年ぐらい

の検討期間を頂きたいといったそういう思いでございます。

○渡邊会長

まだ実施要項、19年度では、例えばそういう研修の形っていうのが、まだ完全には見えてきていないというか、例えば講演会みたいな形式にするのかどうかっていうのは、その辺はまだ決まってないっていうことですね。

●成瀬総務課長

そういったところを検討する時間を少しいただきたいなということです。

○岩月委員

1つ要望よろしいですかね。以前ですね、私としては一番下の市民向けの部分のゲートキーパーの研修を受けたことがあるのですが、その後に来たら市議会の議員さんにも、一度こういうことも知っていただけたらどうかというところで提案したことがあったのですが、たまたまその年は他の研修が入っていて、見送りになったのですが、その後は、特に話 wasn't なかったのでしょうか。

●成瀬総務課長

そうですね、直接お話をしてないものですから。ただ来年度以降の計画の実践の中では、議員の皆様にも何かしらの形でこう知っていただくというような機会を設けたいと思っております。

○小澤委員

すいません。今の関係で、ゲートキーパーの養成研修のことで、今年度が実施方法の検討ということですから、ぜひともご検討いただきたいのですが、色々なアンケートからこういった、何て言うのですか、支え合いとか、どっちかっていうと、このアンケートからいくと、何て言うのですかね、孤立・孤独っていう部分から、ゲートキーパーという言葉を知らない、ある意味まあちょっと意識が、こういう言い方失礼ですけど、ちょっと認識が低いってそういうこともあると思うのですね。で、ゲートキーパーの養成っていうのは、これは非常にいいことだと思うのですが、何て言うのですかね。私ども、私会社にいるのですが、そこに自殺とまでは言いませんけど、職場の相談員に、困ったことがあるのですね。その相談員にストレスがたまるのですよ。ですから相談員の相談員が要るのですね。ですから、ゲートキーパーを養成することは非常にいいことだと思うのですが、そのゲートキーパーさんのストレスの解消じゃないですけどね、まあそれがどういう方法がいいのかなと、ちょっと私にも思い浮かばないのですが、ぜひそういうのもご検討いただけたらなと思います。

●成瀬総務課長

はい、ありがとうございます。非常に大事なことかなと思っております。相談を受けた方が、1人で受けとめるっていうのは非常にこう心理的に負担が大きいですね。その人自身が最悪の

場合、潰れていってしまうということが、今の可能性では考えられるのかなと思います。1人で受けるのではなく、3人5人、あるいはもっと詳しくいろんなことが相談できる方、そういった方につないでいただく。そういったケアも、していかなきゃいけないかな。そういったところは、研修の一つとして、また考えていきたいなというふうに思います。ありがとうございます。

○渡邊会長

はい、ありがとうございます。

大変いろいろな意見が出てきたと思いますけども、はい。

○中出委員

先ほどのお話は、高齢化率とかを考えるのと、後は年齢別におっしゃられたように、年齢のところを考慮していただくと、やっぱり自殺率って一番わかりやすいアウトカムだと思いますので、少しそういう目標があると、評価ができるかなと思います。1個質問になりますが、地域をどれぐらいに分けて、単位で見ているのでしょうか。例えば豊田市全部で自殺率を下げるっていうのはなかなか難しく、ひょっとしたらハイリスクの地域があったりとか、そうでもない地域があったりすると思うのですが、そういう地域診断というのも結構大事だと思うんですね。例えば、1年やってみて、事業がすごくうまく行って、自殺率が減った地域と、そうではない地域とあったとしたら、うまくいったのは何でうまくいったかとか、うまくいかないとは何でうまくいかなかったのか。そういうのも評価していくと、次につながると思うので、どれぐらいの地域で分けた形で、こういう自殺の対策というのを見ていくのでしょうか。

●成瀬総務課長

考え方の1つとしてはですね、本市の基本的な健康づくり全体の話に少し広がるんですけども、市内に28の中学校がありますので、28の中学校区ごとという考え方で、これまでは地区診断とか地域診断というようなことでやってはおるんですけども、こと自殺に関しましてはですね、4ページの数字にもあるように、多いときで100とか、少ないっていうと48っていうので、少し数字がこう小さいものですから、これをこう地域に分けてしまうと、ちょっと極端な数字になってしまうのかなというふうに思っております。そんなことから、今回の5年間、来年からの5年間につきましては、特にその地域だとか地区というふうな考え方は、どこかにはそれはもってなきゃいけないとは思いますが、直近5年間に関して、全市全体で考えていければなと思います。

○中出委員

じゃあこの事業っていうのは、全市としてやってる、どこかでやってるということですか。何かある程度のまとまった区域でやっているのですか。

●成瀬総務課長

もちろんその事業、例えばそのゲートキーパーの研修なんかを進める際には、先ほど言いまし

た中学校単位で開催をしているだとか、もしかしたらもう少し小さい自治区単位ぐらいになるかもしれませんが、その考え方は持っていきたいというふうに思っております。全市で募集して、さあ、このどっかでやりますっていうことではなくて、それもやりながら、地域で展開するものも考えていく必要があるかなと思います。

○中出委員

ありがとうございます。

○渡邊会長

非常に広大な地域で、中山間地域もあつたりとか、地域ごとによってですね、人口の比率や年齢構成も違ったりすることもあるので、確かにそういうこともちょっと非常に大事な視点かと思えます。

はい。ただ全体として、やっていくということですかね。

●成瀬総務課長

それからすいません、後、1つ追加でお願いします。

今回のこの自殺対策計画をつくる際に、基本とする情報についてはですね、実は豊田市単独で情報を得ることが直に申し上げまして、できないっていうことで、国の方からですね、各市町村に対してデータが提供されています。その中のデータが、かなり細かな部分がなくて、豊田市で性別が、年齢がっていうこと、年齢もずばりの年齢じゃなくて、40歳代とかになっているものですから、ちょっと地区ごとに割り振ることができないと思っています。これが少し中学校ごとではなくてですね、先ほど委員もおっしゃられました、年代ごとですね、もちろん年代の情報あるんですけども、それをこう、正面切って使ってしまうと、データとしての信頼度とか精度としては低くなってしまいますので、そういったこともありましてですね、余りこう数字を出せないという実情があつてですね、議論が最初のほうにありました、その自殺率が14.0、まあ17.0っていう話もですね、最初は全体としての話だと59人以下、最初表現したんですけども、パブリックコメント等する中ですね、そこはもう少し適切な表現もあるんじゃないかということで、10万人単位の自殺率である14.0以下を目指すという表現にさせていただいています。もちろん基本的な考え方は、1人でも減らす、0を目指すというのが、間違いじゃない目標だと思っております。

○中出委員

ありがとうございます。

○岩月委員

関連で1つ。自殺者の数、今言われたように、国のほうからお知らせをいただくのに、かなり時間がかかるというのか。今ここに出ているのは17年ですけど、統計上、そういう数字が知らせてもらえるまでに、大分時間的にかかるんじゃないかと思うのですが、それはどれぐらいなんですか。

●成瀬総務課長

はい。おっしゃられるとおりで、大体1年遅れぐらいでやってくるというふうな状態でやっております。今年度の4月から計画策定を始める中では、一番新しい数字がですね、2017年、平成29年で、暦でいうところの年のデータになります。ここ1年遅れぐらいです。

○渡邊会長

はい。村瀬委員。

○村瀬委員

さっきちょっと私、言い忘れたのですが、今の話ですが、4ページ目の2017年の自殺者、自殺死亡率が2万1千前後の16.8人になっていますけれども、去年の自殺率がですね、0.5%改善されて、16.3人となっています。これが去年のですね。

○渡邊会長

実際データのってことですね。

○村瀬委員

はい。

16.8人から16.3人に、今、お話があったため、ちょっと補足させていただきました。

○渡邊会長

はい、わかりました。ありがとうございました。そういうデータが出ているという、そういうお話ですね。はい。

じゃあそれ以外には、よろしいでしょうか。

じゃあ今いろいろな意見が出されましたので、そういう意見をちょっと踏まえて、この計画で進めていただくように、お願いしたいと思います。

それでは次の議題に移ります。報告事項1、「今年度の重点取り組み事業等の進捗について」ですが、全体で8項目ありますので、大きく4つに分けて、進めていきます。

初めに項目番号1から2までの説明終了後に、質疑応答を行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

まずは項目番号1の「まちぐるみで取り組む心と体の健康づくりの充実」について、事務局から説明をお願いいたします。

●成瀬総務課長

項目番号1「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの充実」について説明

○渡邊会長

説明が終わりましたので、次に項目番号2の「地域特性に応じた地域主体の健康づくりの着

実な推進」について、説明をお願いいたします。

●鈴木地域保健課長

項目番号2「地域特性に応じた地域主体の健康づくりの着実な推進」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

項目番号1と2の説明が終わりましたので、ご意見やご質問等をお願いいたします。

中田委員、いかがですか。

○中田委員

いえ、特にはないです。

○渡邊会長

そのほかにはいかがでしょうか。

それではご意見がないようなので、次に進めさせていただきます。

続きまして、項目番号3から6までについて、説明をお願いいたします。

項目番号3の日常における食品衛生環境衛生の安全・安心の確保について、よろしく願い
いたします。

●三輪保健衛生課長、児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長

項目番号3「日常における食品衛生・環境衛生の安心・安全の確保」について説明

○渡邊会長

はい。それでは説明が終わりましたので、次に項目番号4「平常時における感染症予防と発
生時の対策強化」について、説明をお願いいたします。

●児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長

項目番号4「平常時における感染症予防と発生時の対策強化」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号5の「ラグビーワールドカップ2019ほか国際的なイベント開催時
の健康危機管理」について、よろしく申し上げます。

●三輪保健衛生課長、児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長、成瀬総務課長

項目番号5「ラグビーワールドカップ2019ほか国際的なイベント開催時の健康危機管
理」について説明

○渡邊会長

はい。説明が終わりましたので、続きまして、項目番号6「大規模災害発生時の医療救護体制及び公衆衛生確保の強化」、説明をよろしくお願いいたします。

●成瀬総務課長

項目番号6「大規模災害発生時の医療救護体制及び公衆衛生活動の強化」について、説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

それでは3から6までの説明が終わりましたので、ご意見やご質問をお願いします。

まず3について、「日常における食品衛生・環境衛生の安全・安心の確保」に関して、宮澤委員、いかがでしょうか。3番の項目番号ですが、ご意見等ありますか。

○宮澤委員

HACCPの問題についてですけれども、まだまだ一般の人の理解度が低いために、なかなか思うように進めてないという部分ありますし、やっぱり年数をかけるというか、もう少し時間をかけないとなかなか進まないという部分がありますので、また我々協会としても、こちらの事務方のほうと連絡とり合いながら、進めていきたいと思っております。

○渡邊会長

はい、他にはいかがでしょうか。

よろしいですか。

続きまして、4の「平常時における感染症予防と発生時の対策強化」に関しては、どなたか委員の方でありますか。

それでは5の「ラグビーワールドカップ2019ほか国際的なイベント開催時の健康危機管理」はいかがでしょうか。

続きまして、「大規模災害発生時の医療救護体制及び公衆衛生活動の強化」ですね。こちらに関してはいかがでしょうか。

よろしいですか。

全体通して、何かご意見のある委員の方はおられますか。

それでは、続きまして項目番号7ですね。「人と動物の共生社会の推進」について、説明をお願いいたします。

●三輪保健衛生課長

項目番号7「人と動物の共生社会の推進」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号8、「児童虐待防止のさらなる強化」よろしくをお願いします。

●梅村子ども家庭課母子保健業務担当副主幹

項目番号8の「児童虐待防止の更なる強化」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

それでは項目番号7と8につきまして、ご発言等があればお願いします。

7が「人と動物の共生社会の推進」、8「児童虐待防止のさらなる強化」について、中野委員、中田委員、よろしいですか。

○中野委員、中田委員

ありません。

○渡邊会長

それでは1から8までの報告が終わりましたけども、特に意見等はございませんでしょうか。では次の議事に移ります。

報告事項の(2)食品衛生法の改正について、説明をお願いします。

●三輪保健衛生課長

報告事項2の「食品衛生法の改正について」説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

ただいまの説明を聞きまして、ご意見やご質問等はいかがでしょうか。

どうぞ、宮澤委員。

○宮澤委員

(5)の営業許可制度の見直し、これはいつごろから行われるのですか。

●三輪保健衛生課長

この6月をめどに考えているようですが、詳しい情報についてはまだちょっと入ってきておりません。

○宮澤委員

そうすると、この手数料も変わるわけですか。

●三輪保健衛生課長

一応改正に向けて準備しなければいけないので、まだ、この政省令の改正を具体的に示されておきませんので、どの程度になるものかって、今の段階では言えませんけども、当然手数料

についても業種が集約はされるに伴って、改正を加える予定になっております。

○宮澤委員

はい、わかりました。

○渡邊会長

よろしいですか。

他には意見、ご質問等はいかがでしょうか。

よろしいですか。

続きまして、次の議題に、議事に移ります。

報告事項3の「風しん患者の発生状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

●児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長

報告事項3「風しん患者の発生状況について」説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

まだ幸い先天性風疹症候群の報告は、今のところないですね。

●児玉健康危機管理担当専門兼感染症予防課長

ないです。

○渡邊会長

過去のときにはかなりそういう方がいたので、対策を立てなければいけなかった。また、豊田の発生状況見ても、やはりそういう年代の人に発生が多いということなので、積極的にこの事業を進めていくということですね。

他によろしいですか。

委員の方からご質問とかご意見等、よろしいでしょうか。

はい。ということで、他にご意見がないようなので、議事についてはここで終了とします。

進行を事務局のほうにお返しいたします。

— 以上 —

平成31年2月12日

議事録署名人

㊞

議事録署名人

㊞